

— ようやく念願のキアミにたどり着きました！ —
【奈美さんのコミュニティ報告より】

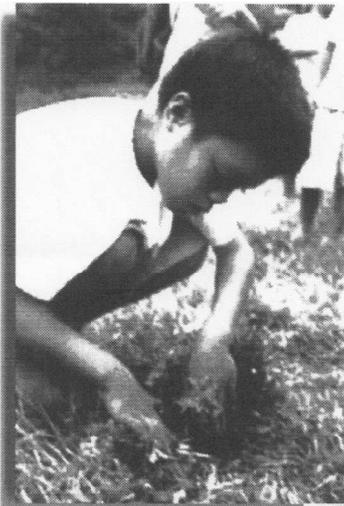
橋のない川を36回も渡った(蛇行しているのと同じ川を何度もわたる)ウェポンキャリア(4駆の中古トラック)はついに途中で動かなくなり、運転手が部品を買いに4時間かけて町に戻るうちに日暮れとなりました。民家に一泊させてもらい、翌日修理を終えたトラックでキアミにようやく到着。連絡することもできず住民、子どもたち、2人の教師は前日よりずっと待っていたとのこと。増水期は川を渡れず、陸の孤島となるこのキアミでは、担当のFr.ブランドの指導で、ランプの油(ケロシン油)や調味料などの生活必需品の共同購入と、とれた農産物の即売をする小さな生活共同組合を準備中でした。「やる気」を重視する彼の指導で、「協力してコミュニティをよくしよう」という雰囲気住民に感じられました。

本校のあるポルルールで、Fr.ブランド(CMBの7つの本校、分校の校長でもある)が自分で育てた樹木や果樹の苗をみんなで植えました。これからも少しずつ住民とともに植えたいとのこと。皆さんも植林作業に参加しませんか？

今年10年ぶりに*再開された分校は、1年生だけからなり生徒総数は56名。年長者組と年少者組に分かれ、それぞれロウエ نداとエディの2人の教師が受け持っています。彼らにキアミ分校の問題を聞きました。栄養状態が悪い子どもが多く、週3日ぐらい給食を実施できれば・・・、新しい教科書(どこかの学校のお下がらしきボロボロのものを使用中)があれば・・・。

最後にエディに、ないないづくしのキアミ分校教師になった理由を聞いてみました。「一生懸命な姿を見れば、子どもも住民達も必ずついてくるから。」彼はCMBの教師になって2年目です。

※14号にキアミは新設分校のように書きましたが、10年ほど前にCMBが創設、その後閉鎖されていたものを、本年度再開したと分かりました。(事務局)



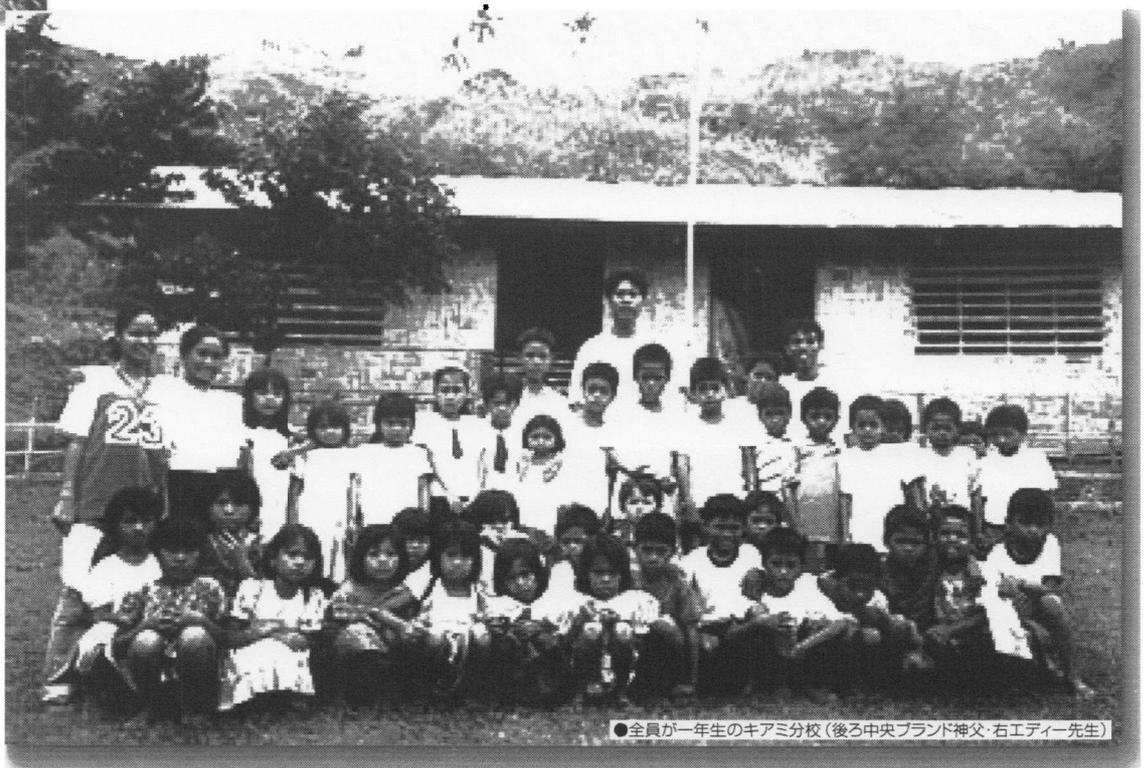
●苗木を植える一年生

— キアミ生活協同組合の設立を少し手伝ってませんか —

奈美さんの報告に関連して、現地からカラバオ一頭と鋤一式、計量器の支援要請が届きました。ゆっくり、少しずつをモットーに、住民の自助努力を大切にするFr.ブランドのコミュニティ指導を会として応援したいと考えています。カラバオ1頭は約5万円です。

賛同いただける方は、一口500円でご協力をお願いいたします。(寄附受付は1月末まで)

キアミは約80戸からなる集落(シチオ)で、周辺のシチオを合わせて100家族余りが組合活動の対象となります。すでに39家族が200⁸ソ(約650円)の組合費を出し、組合の店舗を竹で建てました。200⁸ソ用意できない住民は、とりあえず労力提供で代替できます。(事務局)



●全員が一年生のキアミ分校(後ろ中央ブランド神父・右エディ先生)